

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

令和7年3月7日

調 査 事 項	地域公共交通について
調 査 日 時	令和7年2月13日（木）9時30分～ 香川県坂出市
調査によって 明らかになった 事 項 な ど	【報告事項】 1. 視察の目的 人口減少、少子高齢化、マイカーの普及拡大等により地域公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増している。一方で、地域公共交通はマイカーを自由に利用できない人や免許返納者の日常生活における移動の確保だけでなく、暮らしやすいまちづくりに必要不可欠なものである。 こうした観点から、令和5年3月に策定した山陽小野田市地域公共交通計画を踏まえて、市民にとって利便性が高く、持続可能な移動手段となる地域公共交通を確立している先進地の香川県坂出市を参考にするため、視察した。 2. 視察先の状況 (1) 地域公共交通計画について 坂出市では循環バスやデマンド型乗合タクシーを導入し、中心部の回遊性向上や郊外部の公共交通空白地域の解消に一定の成果を上げてきたが、利用者の減少に加え、物価上昇で運行経費も増加し、公共交通を維持していくのが困難となってきた。 このような中、地域ごとに異なる特性を踏まえ、坂出駅を中心とした都市全体の利便性向上に資する公共交通の充実を図り、事業者や市民と連携しながら持続可能な都市の実現に向けて「坂出市地域公共交通計画」を策定した。 (2) 坂出市地域公共交通計画に基づく取組 ア バス情報フォーマットの整備、バスロケーションシステムの導入 イ 公共交通無料デーの実施 ウ 地域公共交通利便増進実施計画の策定

	エ 運賃の総合的見直し 1) 利便増進事業の実施 2) キャッシュレス決済「T i c k e t Q R」導入と利用支援 3) P R チラシの作成、市公式Y o u T u b e、S N S キャンペーン等の広報活動 オ 循環バスの再編 カ デマンド型乗合タクシーの見直し キ 路線バスとデマンドタクシーの共創の取組 (3) 坂出市における持続可能な公共交通に向けた課題解決 ・乗降センサーによる利用状況把握・分析に基づき、社会情勢や地域の様子の変化に応じた路線再編を実施（E B P M 推進） ・T i c k e t Q R マイナンバーカード連携による運賃の市民割引で利用支援を行うことにより、利用への影響を最小限に運賃を改定 ・T i c k e t Q R による対象者を限定した利用促進や利用支援を行うことにより、政策目的に対応できる。 ・既存の輸送資源のフル活用により利便性向上 (4) 取組の成果、課題と今後の方向性 ア 成果 ・利用者、収入ともに増加、国の補助も増加、それらの効果により市の補助額は減少した。 イ 課題 ・各種取組に対して満足 of いく効果は出ていない。 ・バス運転手不足に対して既存の運行形態にとらわれな い手段を模索 ・公共交通は移動目的あつてのものである一方、通学・通 院がメインとなるため、魅力あるまちづくりと並行して 進めていく必要がある。 (5) 坂出市地域公共交通マップ ・作成費用は 7, 000 部で 108 万 5, 000 円（税抜） ・地域で運行している全ての系統が網羅されているので、利
--	---

用者に分かりやすく、事業者からも行政目線からも市民などへの説明に役立っている。

3. 考察

坂出市では単に計画・実施して終わりではなく、PDARUサイクルによって、地域公共交通計画に基づく事業を着実に進行している。従来のPDCAサイクルとの違いはReport（報告）の観点で、分析結果を積極的にホームページなどで公開し市民の主体的な参加を促している。

デジタルの活用、免許返納者への支援、運賃の見直し、多様な広報活動など市民の利便性向上かつ持続可能な地域公共交通への取組を行っている坂出市を参考にして、本市も市民にとって利便性が高く、持続可能な移動手段となる地域公共交通が実現できるように、委員会として取り組んでいきたい。